

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		農業振興事業				②事業番号		3403	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		平成 7 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		○ 法令	○ 条例	○ 規則	○ 要綱	○ 計画等	○ その他		
⑦実施手法		○ 直営	○ 全部委託	○ 一部委託	○ 補助・負担	○ その他			
⑧関連予算科目コード		款 5		項 1		目 3		細目 2	
⑨担当部名		⑩担当課名				会計		一般会計	
市民生活環境部		産業観光課							

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 農業振興地域		① 農業振興地面積		ha	
② 農業従事者数		② 農業従事者数		人	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
・農業地域の自然資源の多面的機能の保全等に配慮しながらほ場整備、農道及び用排水路施設の整備等農村集落道路等各種の農業農村整備事業を積極的に進める。		① 農用地面積		ha	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
・農業従事者の減少への対応、高収益農業の展開にとって土地利用の高度化及び水資源の合理的利用、並びに農業経営規模の拡大を図り、本市農業の活性化を図る。 ・農業生産条件と生産環境との調和のとれた快適で住みよい地域づくりを推進する。		① 基盤整備済面積		ha	
		計算式			
		②			
		計算式			
		③			
		計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
・道路・水路・農地等の農業基盤整備により生産性の向上を図る。					
その他の体系上の位置付け (3—1—1—3):農作物のブランド化に繋がる。 (3—1—1—4):担い手の確保と育成に繋がる。		政策(章) 3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち			
		施策大(節) 1 大地と海からの恵みとしておいしく安全な食料を供給し続けるとともに、魅力的な農業と漁業のあるまちをぞめします			
		施策中 1 農業の振興			
		施策小 1 農業基盤の整備			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	農業振興地面積	ha	411	411	411	411	—	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②	農業従事者数	人	617	617	617	617	—	
活動指標①	農用地面積	ha	124	124	124	124	—	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	基盤整備済面積	ha	18.6	18.6	18.6	18.6	—	
成果指標②								事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.92	1.20	1.11	1.11		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	7,389	9,636	8,999	8,999		
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	4,134	4,434	5,138	6,018		—
	直接事業費	千円	11,523	14,070	14,137	15,017		
	総事業費	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		—
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	11,523	14,070	14,137	15,017		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	本市農業経営規模の拡大を図り、本市農業の活性化を図るため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	これまで別所地区、六尾地区、童子畑地区のほ場整備を行なったが、ほ場整備が必要な地区は依然として多い。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	農道・用水路等を整備することで農業活性化に繋がる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	本市産業振興のうちの農業分野であり、推進の為に税金が必要である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	地産地消の観点からは合っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	地域農業の衰退の傾向が大きくなる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	ほ場整備を行なった地区に関しては遊休農地もなく農業の振興が図られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	地域農業従事者の意見等を聞く必要がある。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではできませんか。)	ア. ある イ. ない	泉南市農業振興地域整備計画に基づく事業のため困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	農業従事者による農道整備(進入路)はまれにあるが、大規模では不可能。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	泉南農業振興地域整備計画に基づき本事業も進めなければならない。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (年まで) エ. 休止 (年から) オ. 廃止 (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—